

日根小だより



令和6年2月21日(水)
文責：校長 飯田 恵子

向春の候、保護者の皆様や校区の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校の教育にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、本校では2月8日(木)に地震を想定した避難訓練を実施しました。避難指示から点呼終了まで3分42秒でした。約800名の児童と約50名の教職員が避難したと考えると、本当に迅速な行動です。しかし、これで満足して良いのでしょうか。「じぶんごと」として緊張感を持って行動できたかということが肝心です。

「日根小だより」(1月号)でも記載したように、始業式では、自分の命を守ることや緊急時の持ち出しとして可能なら水の用意をしておくことを話しました。2月の児童朝礼では、普段から「仲間」を大切にし、人とのつながりを築くことが大切であること、そして、避難訓練では、実際に避難する時の注意事項などを確認しました。有事の際には、マイクは使えません。大人の指示を聞くためにも、小さな声でもおしゃべりは控えるようにすることが大切です。

保護者の皆様には、ご自身のお子さんの安心のために、事前に次のことを伝えてください。

①自宅の住所 ②家族の名前 ③家族の連絡先 ④子どもが知っている近くにある避難場所。
特に、連絡先は電話番号だけではなく、勤務先であれば会社等の名前も伝えておくことが必要です。いざという時に役立つよう、ランドセルなどにメモ書きを常備しておかれることをお勧めします。

【2月の主な行事予定】

2月22日(木) 校則説明会(6年)
2月23日(金) 天皇誕生日
2月26日(月) 小学校体験入学
2月28日(水) 市内一斉パトロール

【3月の主な行事予定】

3月 1日(金) 日根野高校との交流会(全学年)
3月 7日(木) つながりタイム(5時間め)
3月 9日(土) 卒業式前校内清掃
3月11日(月) 6年生を送る会(3時間め)
3月12日(火) 卒業式予行
3月14日(木) 卒業式準備
5年生 14時40分下校
他学年 13時30分下校
3月15日(金) 卒業式(1~4年生は休み)
3月20日(水) 春分の日
3月21日(木) 大掃除
3学期給食最終日
3月22日(金) 修了式

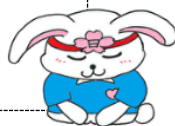
【お願い】

制服のリサイクルにご協力いただき、ありがとうございました。今年度も、1月27日(土)にリサイクル販売をしたところ、多数の方に購入していただきました。

次年度に向けて制服や体操服を整理される場合は、学校にて回収を行っていますので、きれいな状態にして持ってきてくださいますようよろしく

お願いいたします。

回収は随時受け付けています。



クラスの友だちや学年の仲間を大切に
充実した時間を過ごしてほしいです。

【研究コーナー】 《 My note について（5年生・6年生） 》



泉佐野市では市立小中学校の5・6年生と中学生を対象に、My note を一人一冊配布しています。このノートは、スケジュール帳の機能もあり、今月の予定や今日のやることをしっかり計画することを大切にしているノートでもあります。本校もこの My note の取組みを実施し、朝の時間、帰りの時間などに My note を書く時間を設定しています。自分の今日1日の生活の見通しを持ったり、目標を書いたりすることで「より良い1日」を過ごせるように、活用を推進しています。

また、「今日はどんな日だったのか」をふり返り、今日の自分を見つめ直しながら、明日からの自分の

成長につなげます。

今後、自分で生活の見通しをもって計画すること、毎日の生活を日々ふり返ることをくり返すことを通して、自主的により良い生活をつくっていくことをめざしていきます。



【生徒指導コーナー】 《 代表委員会の意欲的なとりくみ！ 》



☆「廊下を歩こう!」

代表委員会の5年生・6年生が交代で、15分休憩と昼休憩に、「廊下を歩こう」の声かけ活動をしました。校内の曲がり角や廊下の交差点、外のコンクリートの通路などに立ち、廊下のことだけでなく、「ポケットから手を出そう」「上靴を踏まずに履こう」などと書かれたポスターを持って、みんなが安全に過ごすことができるよう

に、高学年として主体的に活動を行いました。

☆「気持ちの良いあいさつをしよう!」

代表委員会の6年生が1～5年生のクラスにあいさつの大切さを伝えにきました。この活動は、卒業を控えた6年生が自分たちで学校のために何ができるかを考えて取り組んだものです。

気持ちの良いあいさつで1日が始められる日根野小学校にしていきたいという6年生の思いを、子どもたちはしっかりと受け止めていました。この効果もあり、登校時のあいさつの声も大きくなってきました。



【人権コーナー】 《 車いす体験を通して… 》



わたしたちは、体・目・耳が不自由な人や体の内部や発達などに障がいのある人も、みんなで一緒に生活をしています。

3年生は、泉佐野市社会福祉協議会の冊子「やさしい気持ち」を使って障がいについて学びました。補助犬マークやハート・プラスマークなどの障がいに関わるマークも学習しました。その後で、3人一組で、①説明する人 ②押す人 ③乗る人をそれぞれ体験しました。その中で、ジグザグのコース



や曲がり角、段差のある道に見立てたコースを体験することで、障がいのある人の生活や気持ちを知り、思いやりの気持ちをもって声掛けなどのお手伝いすることの大切さを学びました。

この学習のワークシートから、子どもたちが学んだことを紹介します。

<車いす体験で気づいたこと・わかったこと>

- ・すごくこわかった。声かけをしてくれるだけで、こわいのも消えた。
- ・ジグザグはむずかしいし段差はこわいから、心の準備をしないとびっくりすることがわかった。

<これからどんなことができるか>

- ・車いすに乗っている人を見かけたら、勇気をだして声かけとかしたいです。
- ・「てんじブロック」に自転車をおいているのをみたら、その人に声をかけたり、自分でどかしたりしたいと思った。
- ・前までは、たいへんそうな人がいたら何したらいいかわからへんからほっておいたけど、「手伝いましょうか?」と聞いて助けて、何も障がいがない人も助けたいと思った。

< 5年 「命の授業！」 >

5年生は谷口病院の谷口先生をお迎えし、命をテーマにした話を聞きました。

先生からは、仕事を通して感じた「命の大切さ」を教えていただきました。また、話の最後には、「自分らしく生きていってほしい。そのために、相手の相手らしさを認めていくことが大事。」というメッセージもいただきました。子どもたちは、「生まれてきたことが当たり前と思わず、感謝していきたい。」「自分の個性を大切に、自分らしく生きていきたい。」といった感想を書き、自分の生き方を見直すきっかけになりました。

この学習で学んだことを今後の学校生活に活かしてほしいです。



< 3年 「自分の気持ちを考える！」 >

今回のセカンドステップでは、自分の気持ちを表現し、相手の気持ちに共感して、お互いに理解し合い思いやりのある関係をつくることを学習しました。

教材にある子どもの表情から気持ちを考えることで、相手の気持ちを考えるという経験をしました。日常生活の中で自然に行っていることでも、どこから気持ちを読み取っているのかを確認することで、改めて他人の気持ちに気づく機会になりました。

最後に、三人一組でロールプレイを行い、「わたしは割り込まれて悲しかったよ」のように「わたしは／ぼくは・・・」で始まる言



い方を使うと、相手を大切にしながらも、簡単に自分の気持ちを相手に伝えることができ、気持ちを分かり合うことができると気づくようになりました。

嫌な気持ちだけでなく、嬉しかったことや楽しかったことなどの気持ちも、相手に伝えることでお互いに理解し合い思いやりのある関係をつくることのできるということを学習しました。



< 1年 「冬みつけ！」 >

3学期の生活科では、「冬みつけ」の学習を行いました。どんなものに温かさや冷たさを感じるのかを考え探しました。子どもたちからは、「コタツ」や「アイスクリーム」といった生活の中で温かさや冷たさを感じるものの名前が多く出てきました。

実際に外に出てみると、「風」に冷たさを感じ、「空」の様子や「葉っぱのない木」といった風景から、冬を感じる言葉も出てきました。「季節によって、温かいものと冷たいものが違うのはなんでだろう。」という疑問や「冷たいものは夏に気持ちいいけれど、あったかいものは冬に気持ちいいから季節の勉強になった。」など、冬と他の季節を比べることで新たな発見がありました。



また、秋ごろから芽をつけ始め、寒さ厳しい冬を芽のまま耐え、温かい春に花を咲かせるしだれ桜の冬芽を観察し、普段の生活では気づきにくい“小さな冬”にも気づくことができました。そして、冬にしか見られない霜柱などの現象があることを知り「学校に来るときも冬みつけしながら来る!」と意欲的な声も聞かれました。学習の最後には、風車を作り元気いっぱい校庭で走り回りながら冬の風を感じました。